



戸田ヶ原 レポート

次々と野の草が花を咲かせている戸田ヶ原自然再生エリア第1号地。今回は、4月から5月に実施したサクラソウとトダスゲの調査結果、5月の保全管理作業について、ご報告します。

イヌヌマトラノオ

5月の保全管理作業

戸田ヶ原自然再生エリア第1号地では、かつての戸田ヶ原に近づけるよう保全管理を進めています。5月13日に、戸田ヶ原サポーターの方々と総勢14名で、外来植物(オオブタクサ、ハルジオン、キクイモ、セイタカアワダチソウ)の抜き取りと刈り取った草の運び出しを行いました。作業した箇所、6月に入りクサフジやイヌヌマトラノオが開花しました。



サクラソウ



クサフジ



トダスゲ

2010年から2014年にかけて市民のみなさんと戸田ヶ原自然再生エリア第1号地へ4910株のサクラソウを植え付け、外来植物の抜き取りやカヤ刈りなどの保全管理作業を行ってきました。今回の調査で、種子から芽生えたサクラソウの個体を初めて確認することができ、サクラソウの生育株数が5682株と増加傾向にあることが確かめられました。また、サクラソウの開花株数は1546株でした。植物の植え付けや保全管理作業にご協力いただいた多くの方々のおかげです。ありがとうございます。



今回の調査で、トダスゲの開花株数は164株を確認しました。モニタリング調査を開始した2010年以降で最も多く、トダスゲの開花株数も増加傾向にあります。

戸田ヶ原自然再生推進連絡会議を開催

5月23日に、平成26年度第1回の戸田ヶ原自然再生推進連絡会議を開催しました。室内での会議と現地視察を行い、今年度の戸田ヶ原自然再生の取り組みや今後の方向性について、委員の方々からご意見をいただきました。



戸田ヶ原サポーター活動予定

7月22日(火)に戸田ヶ原自然再生エリア第1号地の保全管理作業を予定しています。活動への参加を希望される方は、時間や集合場所などをお伝えしますので、事前に環境政策課までご連絡ください。

戸田ヶ原自然再生の目標種

トウキョウダルマガエル

戸田ヶ原自然再生では、多様な生きものを育む場の再生を目指しています。今回は目標種のトウキョウダルマガエルを紹介します。



トウキョウダルマガエルは、湿地や池、沼、田んぼ、用水などでくらしています。オスは「ンゲゲゲ、ンゲゲゲ」と鳴きます。かつては湿地であった戸田ヶ原や水田が多かった戸田市内に広く生息していたと推測されますが、現在ではほとんど見ることができません。2010年に開設した戸田ヶ原自然再生エリア第1号地の水辺では、2012年以降、トウキョウダルマガエルが毎年確認されています。

フレモコウ情報

育成中のフレモコウは、葉が大きくなり、茎を伸ばしています。他の草が生えてきたら抜き取ってください。



JR埼京線またはJR武蔵野線
武蔵浦和駅より「下笹目 行」バス乗車
「彩湖・道満グリーンパーク入口」
下車徒歩10分

JR埼京線 北戸田駅より
tocoバス美笹循環乗車
「道満」下車徒歩8分

